

災害に備えて家族で話し合おう！

災害は、家族と一緒に居るときに発生するとは限りません。東日本大震災の時では、子供やお年寄りを探しに行き津波に襲われるという事例がありました。このような被害を出さないためにも、地震が起こった時どのように行動するのかを日頃から家族で話し合い、決めておきましょう。

○あらかじめ決めておくこと

- ・ 昼の職場や買い物先、学校で被災した場合の避難場所
- ・ 非常持出品
- ・ 避難完了後の家族との連絡手段や集合場所

○便利なアイテムを利用しよう

家族で話し合う際は、ハザードマップについている防災メモや避難経路の確認欄を活用しましょう。



ラジオを活用しよう

災害時は、停電等でテレビが視聴できなくなります。そんな時、ラジオは情報収集手段の一つとして活躍します。

○臨時災害放送局

臨時災害放送局とは、災害時に被災地の自治体が臨時的に開設するための放送局です。災害情報をはじめ、給水、炊出し等のきめ細やかな被災者支援情報、復興情報等を被災者住民に提供することにより、被害の軽減、被災者の生活安定に大きく貢献するものです。開設された場合は、自治体からお知らせしますのでお手持ちのラジオで聴くことができます。



○臨時災害放送局の実験放送を実施しました！

10月29日、世界津波の日・日高高校生サミット・スタディツアーに合わせて、臨時災害放送局の実験放送を行いました。御坊市で大地震が発生したという想定で、日高高校と日高高校附属中学校の学生が取材を行い、被災者支援情報や安否情報などをラジオを通して実際に放送しました。放送した内容は壁新聞として貼りだす訓練を実施しました。



アナウンスする日高高校生の様子



日高高校生が作成した壁新聞

わかやま冬の交通安全運動

12月1日（土）から10日（月）での10日間、わかやま冬の交通安全運動が実施されます。この時期は、夕暮れ時間が早くなります。明るい色の服装や反射材等を活用し、交通事故防止を心がけましょう。

また、同運動に伴う街頭啓発活動を12月3日（月）午前11時から午後0時頃までの間オークワロマンシティにおいて実施します。

パトカーの展示も予定しておりますので、是非ご来場ください。

問い合わせ 防災対策課 ☎0738-23-5528

